

# 進路だより

## 中学部 作業週間・職場体験

中学部では、毎週木・金曜日の作業学習の「ねらい」を次のように設定し、取り組んでいます。作業週間(11月9日～13日)には「まきび文化祭」での販売学習に向けた「ねらい②」を、生徒自身が意識して取り組めるよう設定しました。午前中を通して働くという普段より長い作業時間を設定することで、主体的な活動を促し、高等部の生活も意識できるようにしています。

### 中学部作業学習のねらい

- ① 決まった時間、作業をしたり自分の役割を果たしたり、協力して製品を完成させることで、作業に参加する喜びや成就感を味わう。
- ② 製作した製品や栽培した作物が、学部や学校、地域の中で役立つことを知り、作業することの尊さや喜びを感じる。
- ③ 作業学習での目標をもちながら、各作業で必要な知識や技能を習得し、経験を重ねる。

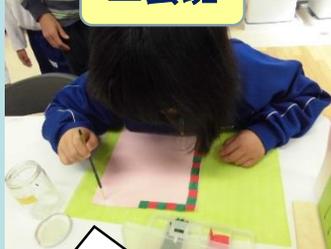
### 作業週間

#### 農耕班



堅い土をくわやシャベルで耕しています。

#### 工芸班



集中して紙の貼り付けをしています。

#### 手芸班



デザインを考えて横糸を選び、いねいに織っています。

#### 木工班



卓上ボール盤を使って穴あけ作業をしています。

### 職場体験

作業週間中の3日間、県のジョブ支援員活用事業を活用して、中3の生徒が、校外の職場に行きました。職場の方に混ざって、ジョブ支援員さんと一緒に午前・午後を通して働くという体験をしました。期間中は、欠席することなく、熱心に働くことができました。



フルーツネットを半分に折っています。



丁寧にバリ取りをしています。



洗い物をがんばっています。



封入作業に取り組んでいます。

## 特別支援学校の生徒のためのジョブフェア開催

岡山県教育委員会の主催で11月24日(火)に岡山国際交流センターで「特別支援学校の生徒のためのジョブフェア」が開催されました。岡山の就労応援団(※)の企業から13社が面接を担当し、県下の特別支援学校13校から生徒180人の参加がありました。本校からは高等部職業コース2年生16名と生活コース2年生の希望者3名が参加しました。

開会式では職業コース2年生の文箭くんが特別支援学校の生徒を代表して挨拶をしました。また岡山県教育委員会が作成した岡山の就労応援団広報DVDのお披露目もあり、本校の映像も2分間紹介されました。



会場はそれぞれの企業ごとにブースが設けられ、生徒は自分の希望する企業で面接を受けました。生徒からの質問で「どんな人が求められますか」との質問に、企業側から「毎日休まずに、遅刻せずに出勤することが大切です。会社を急に休むとシフトが組めず、誰かがあなたの仕事のカバーしないといけないので、とても大変になります」など具体的に分かりやすく、仕事への心構えを伝えていただきました。



生徒たちは緊張した雰囲気の中で、企業の社長さんや人事担当の方を相手にして、自己紹介をしたり自分から質問をしたりすることができとても良い経験をすることができました。他校からも多くの参加者があり「就職を希望する人たちがこんなにたくさんいるんだな」と生徒たちも実感することができ、就労への意欲をさらに高めることができました。



### 岡山の就労応援団(※)

「岡山の就労応援団」は、就労による社会的自立をめざす特別支援学校の生徒の「働く力」を一層育成し、職業教育や就労支援の充実を図るために、特別支援学校で学ぶ生徒の「働きたい」を応援している事業所の団体です。

登録すると岡山県教育委員会特別支援教育課HPの登録事業所一覧に掲載されるとともに、事業所には「登録証」と「岡山の就労応援団のワッペン」が発行されます。現在、約240社が登録しています。

青山商事 SEB体育企画 キョウセイ 倉敷スクールタイガー縫製  
JFEアップル西日本 宗家源吉兆庵 でりか菜 藤花会 仁科百貨店  
日研環境サービス 平林金属 平松運輸 ベネッセビジネスメイト



登録番号 第 号

#### 岡山の就労応援団登録証

企業名

所在地

貴社を岡山の就労応援団として登録したことをここに証します

登録年月日 平成25年 月 日

岡山県教育委員会

教育長 竹井 千庫

今回のジョブフェアで協力していただいた事業所(13社)

